

能登牛応援星短 project

団体名 ● コスメティックベコリン♡ / 代表者名 ● 柿本美空 (短期大学部経営実務科2年)

はじめに

石川県のブランド牛である能登牛は、平成31年に出荷頭数1,000頭を超え、ブランド牛としての価値が高まりつつあるものの、石川県外ではあまり知られていない。また、県内で能登牛を知っている人でも名前を聞いたことがある程度で、魅力まで知っている人は少ない。そこで、能登牛の魅力を県内だけではなく県外の方にも知ってもらうため、学生自ら能登牛について深く学び経験を通じて理解し、発信していくことを目的に活動を行った。

活動内容

1. 販促品として化粧品をプロデュース

私たちは、能登牛を幅広い世代に広めていくために販促品のプロデュースを試みた。そして、若い世代の女性をターゲットの中心に置き、能登牛キャラクターであるべこりんをモチーフとしたアイシャドウを販促品として制作することにした。昨年10月に能登の牧場へ能登牛を見学に行ったイメージを生かし、できるだけ牧歌的なイメージになり、どの女性でも好まれるブラウンカラーを提案したが、ブラウンだけで約300種類もあった。その中からラメ入りで能登牛イメージに近い1色を選定した。パッケージのべこりんは、可愛らしいものを作りたいため、べこりんの顔を入れた。アイシャドウ制作を通じて、ロット数の壁や薬機法の規程など、化粧品業界のさまざまな問題に直面したが、地域協創に前向きな株式会社ケイズ様が力をくださり完成することができた。



▲アイシャドウの色を選ぶ様子

◀完成したアイシャドウとアルコールジェル、ラベルシール

2. 全国和牛能力共進会鹿児島大会での応援活動

2022年10月6日-10日に、「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」が開催され、私たちは石川県ブースの応援活動として8名で参加した。この大会は、5年に一度行われる牛肉の全国大会で、通称「和牛オリンピック」と呼ばれている。能登牛は、第9回の大会で特別賞を受賞しているものの、全国上位を争う県のブランド牛に比べ、未だ僅かの人々にしか知られていないのが現状である。そのため、できるだけ多くの人に能登牛を知ってもらえるように、私たちは広報活動に力を入れた。私たちが考案した星短オリジナルグッズ(アイシャドウやアルコールジェル)を、資料や既存の販促品と共に配布し、石川県ブースを大いに盛り上げた。生産者も含め、男性ばかりの畜産業界に、女子学生8名が応援活動を行うことは初めてのことだったようで、一般客だけでなく他県の業界関係者も喜んで石川県ブースを訪問してくれた。もちろん、販促品のべこりんアイシャドウは多くの世代の女性に喜ばれた。

今後の課題、展望

今回の活動で、多くの人々に能登牛を知ってもらうことができた。しかし、販促品のバリエーションを増やすためには、誰にでも利用し得る販促品を予測するといったことが必要である。これらの課題を改善し、今後も能登牛のPR活動を精力的に行っていきたい。



鹿児島全国大会でのプレゼンや応援活動の様子